# This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT `
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

### ⑲ 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

#### ⑫公開特許公報(A) 平1-146718

(f) Int Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

砂公開 平成1年(1989)6月8日

B 29 C 45/56

45/26 45/80

7729-4F

6949-4F 7258-4F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

69発明の名称

金型制御装置

创特 願 昭62-304526

29出 昭62(1987)12月3日

72発 明 H 小

昭 道

東京都品川区戸越5-16-5

の出 願 人 小 出 昭 道 東京都品川区東大井5-5-11-503 株式会社ケー・ピ

ー・エム内

1発明の名称

2 特許請求の範囲

(4) 各 樹脂 の p - v - t 級 図 ( 圧 力 - 容 積 - 恒 度 、 関係因うをフロッピーディスク又は光ディスクに 記憶しておき、その故図上で成形品のキャピティ 容哉,射出保圧、並圧降圧、冷却温度、金型開放の 比容積等、会型圧均条件を設定しそれを画面(C RT)に安示しそのp-v-t級因上に従って金 並のキャビティ内圧、キャビティ材料温度、金型 容数をフィードバック制御する事により射出圧超 成形の成形収益を予期する事を特徴とする制御芸 M .

又は光ディスクに記憶してかき、その値図上で成 形品のキャビティ客段、射出保圧、型圧縮圧、冷 却過程の個度、金型開放の比容額、金型条件を設 定し、そのリーマーに辞図上に射出圧線圧過程を ライトペンもしくは先センサー等で画面(CRT) 上に連続曲線で始んだ、射出圧縮プロフィルを標 成し、その全型の圧縮成形する圧縮圧プロフィル をフィードバック製器する無効を費。

従来金型内にキャビティー部を前進後退出来る 位 圧 シ リ ン ダ ー K て 射 出 長 圧 編 成 形 す る か 又 は 成 形根の油圧エジクターに依り、射出後とれより発 生する圧力により、キャピティ容貌を経験的に圧 離させ所定の圧離代を想定して成形する方法がと られていた、又会型内に射出してキャビティに材 料が充填して、その内圧よりキャピティ容積を増 大させその徒型額力を利用して圧縮する方法がと られていたが、成形収益率を一定にする事が困難 てあり、製品の厚サ方向の パラッキが大きくなる 欠点があった。

射出圧超成形に於いて収益率をどの位にするか、 又その圧縮される材料の圧移圧力及び冷却温度の 過程が重要を要素となっていた。そので射出圧移 過程を材料の圧縮圧力と発却温度による比容額の 変化をグラフ化した、ローマーも親囚をフロッピ

300 m. 1 . 2 0

ーディスタ又は光デスタに記憶しておき、その者 。 本装置はプロセスコントローラーとして・コンビ 上で成形品金型条件を設定しインブットして経験 材料の希知過程に作ない圧和圧力を多段階にコン トロールする事により設定圧線圧力をかけをがら キャビティを成形収益する通程を記憶装置にイン ブットしその記憶を自由に取り出し可能とし置面 に表示しその状況を連動してフィドパック制御す る方法を提供するものである。

現況の会型制御の問題点、圧縮率、圧縮圧力は経 験的要素が多分に必要であり、又その設定には圧 盤圧力、圧量な動距離位置で圧縮成形されている。 射出圧組成形では、金型の収益率は金型の構造や ャピティ、ランナ、ゲート、圧縮される樹脂の種 類により自由に設定する事は難かしく、その街店 のリーマーに独上で保証、圧和圧力、冷却過程を 検討し、会型にあったキャビティ圧器圧をプロフ ィル化し材料温度、圧縮圧力をフィドパック**輌**弾 する事によってヒケ、ポイドのない成形収録率の 小さい安定した成形品を得る様な射出圧縮成形を 簡単に解復出来る様にしたものである。

ューター及び専用プログラムを告載し型キャビテ 4 の側距圧を圧縮する過程と材料温度と圧縮変位 を対象データーに登録し、登録データーに従った 制御電圧の発生及びモニターを行うものである。 射出圧組成形の金型は全ての部分的な工程が重要 となり、しかも各工程のプロフィルは常に自由に 設定し再現出来をければならない。そとで型圧器 ・圧力と温度がその金型に即した型圧幕圧力のブロ フィルをタイトペンもしくは先七ンナー等で CRT ディスプレイを用いて入力し更にフロッピーへ格 的する。登録されたデーターを集正編集が自由に

型内圧縮のプロフィルをD/A 変換を通して出力 し 閉ループユニット(サーポユニット)の制御電圧 とする。同時に金型のプロフィルをモニターする 又刻如へ引き彼ナディジタル信号も同時出力する。

第1 因は従軸に比容後、換軸に進度を取り力圧 下に於ける加熱時並びに冷却時の挙動を撰語の、

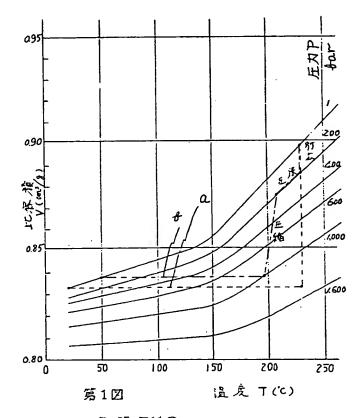
p - v - t 雑(圧力 - 容積 - 温度関係図)で表わ

- j農図。は比容費が復単状態のそれになる様に材 料温度、内圧を制御し、収益率を0とした曲部
- i #2図 b は成形品の射出保圧型圧維圧冷却の温度 **会 歴 間 放 時 の 比 容 徴 等 金 型 条 件 を 数 定 し ディ ス** プレイしたものである。

第2回線図ェはp-v-t線図に全型の射出圧 毎圧をプロフィルされた全型の多段コントロー ル された圧縮成形される通程をディスプレイし たものである。

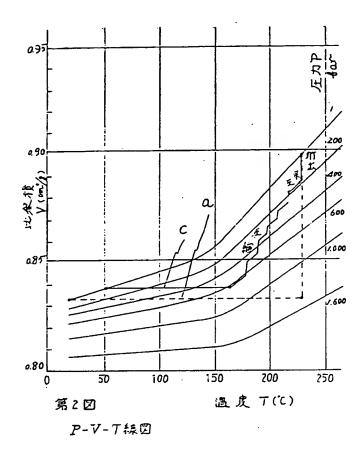
第3回社会型制御の作動フロー

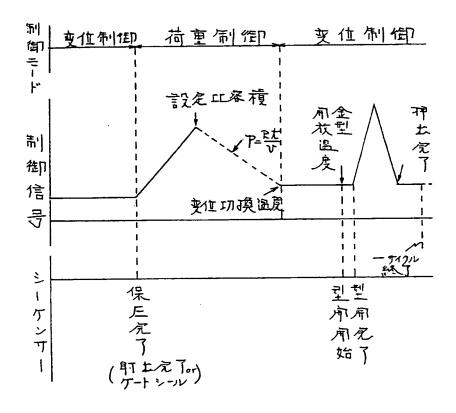
第4回は本芸屋の割御板略図



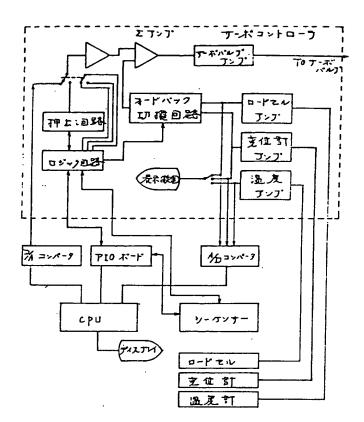
P-V-T線图

特許出頭人 小出昭进





第3図



第4四

CLIPPEDIMAGE= JP401146718A

PAT-NO: JP401146718A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01146718 A

TITLE: MOLD CONTROLLING DEVICE

PUBN-DATE: June 8, 1989

INVENTOR - INFORMATION:

NAME

KOIDE, AKIMICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KOIDE AKIMICHI

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP62304526

APPL-DATE: December 3, 1987

INT-CL (IPC): B29C045/56; B29C045/26; B29C045/80

US-CL-CURRENT: 425/542

#### ABSTRACT:

PURPOSE: To manufacture a stabilized molded product having small molding

shrinkage factor without sink marks and voids by storing data on compression

pressure and variations of volume ratio due to cooling temperature for a

material in the injection compression process in a floppy disc or an optical

disc, and then setting up and inputting molding conditions for a molded product

in order to control compression pressure in multi-stages during the cooling process of the molten material.

CONSTITUTION: P-v-t diagram (pressure-volume-temperature, relative diagram) of

each resin is stored in a floppy disc or an optical disc, and mold compressing

conditions such as the cavity volume of a molded product, injection dwell

pressure, mold compression pressure, cooling temperature, volume ratio of mold

opening and the like are plotted on the diagrams, which are displayed on the

screen (CRT). Molding shrinkage of injection compression molding is estimated

by feedback-controlling the cavity internal pressure of the mold, cavity

material temperature and mold volume according to the data of the p-v-t

diagram. An injection shrinkage profile formed by continuous curves is

displayed on the screen (CRT) for the injection compression process illustrated

on the p-v-t diagram by a light pen, an optical sensor or the like and the

compression pressure profile for the compression molding of the mold is

feedback-controlled.

COPYRIGHT: (C) 1989, JPO&Japio

----- KWIC -----

Document Identifier - DID:

JP 01146718 A

Abstract - FPAR:

PURPOSE: To manufacture a stabilized molded product having small molding

shrinkage factor without sink marks and voids by storing data on compression

pressure and variations of volume ratio due to cooling temperature for a

material in the injection compression process in a floppy disc or an optical

disc, and then setting up and inputting molding conditions for a molded product

in order to control compression pressure in multi-stages

during the cooling process of the molten material.